

科目名		キャリアゼミ 1							年度	2025
英語科目名		Career Seminar 1							学期	通年
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	三山慶人	教員の実務経験		有	実務経験の職種		音楽プロダクション制作業務			
【科目の目的】										
音楽業界に就職する祭に必要なとなる業界知識やビジネスマナーに関わることを学ぶ。具体的には、以下の2点を科目の目的として設定している。										
①【プレゼンテーション】より実践的なコミュニケーションの能力として、就職活動やビジネスの現場で扱えるようなプレゼンテーションのノウハウやスキルの取得。										
②【業界基礎知識】エンターテインメント業界の現状を理解し、実践的な知識や伝える力の取得。										
【科目の概要】										
本科目では、ビジネス・マネージメントをビジネスパーソンとして社会に出て行く上で必要となるジェネリックスキルとして理解し、音楽やイベント業界をはじめとした多様な仕事の現場で通用する社会人基礎力を身につけていく。より実践的なビジネスマネジメントスキルとして、「前に踏み出す力（アクション）」、「考えぬく力（シンキング）」、「協力する力（チームワーク）」の向上を目指し、通常の講義に加え、受講生同士による相互の学び合いを重視し、演習も交えた内容となっている。										
【到達目標】										
A：前に踏み出す力（アクション）によって、積極性と実行力が備わっている。										
B：考え抜く力（シンキング）によって、深い分析と論理性、創造性が身についている。										
C：協力する力（チームワーク）によって、共感と協調を理解している。										
D：発表する力（プレゼンテーション）によって、説得する知識と表現する力を持っている。										
E：エンタメ業界の基本を理解し、データ分析、他者に伝えることができる基礎的能力が身についている。										
【授業の注意点】										
時間意識を強く持ち、授業開始時には着席をして、ノートが開かれシャープペンの芯が出ている状態でスタートする。分からない事柄や言葉は記録し、その日のうちに解消する。自分の意見、発想、アイデンティティを持つには経験と時間、数多くの引き出しを得ることが重要である。そのためには、よく考えるということを意識して授業に取り組むことが大切である。各自の知的好奇心を持って、自分なりの考察を試みることが重要である。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標A	自発的に意見・質問を提出。他の学生の学びにも良い影響を与える。	授業で意欲的に取り組み、定期的に質問やコメントをする。	基本的な参加はするが、自発的な発言は限定的。	消極的で、教師の促しや指示がないと発言が少ない。	ほとんど参加せず、教師の促しにも反応が限られる。					
到達目標B	問題に対して独創的な解決策を提案し、論理性を伴う深い思考を行う。	論理的に考え、合理的な解答を見つける。	基本的な問題解決は可能だが、複雑な課題では苦勞する。	単純な問題解決はできるが、深い思考は難しい。	基本的な問題解決にも苦勞し、考える深さが不足している。					
到達目標C	自発的に行動し、積極的に協力。困難な課題でも解決策を探索する。	自らタスクを引き受け、共同での課題解決に積極的に貢献。	指示された役割を遂行し、協力するが、自発的な行動は限定的。	貢献が一定程度にとどまり、新しい行動を起こすことが少ない。サポートや促しに依存。	消極的で、自発的な行動を起こすことがほとんどない。他からの促しや指示が必要。					
到達目標D	明確かつ効果的にアイデアを伝え、聴衆を引き付ける。	考えをはっきりと伝え、聴衆の注意を引くことがある。	基本的なプレゼンテーションはできるが、時に不明瞭になる。	アイデアの伝達に苦勞し、表現が不明確なことがある。	自分の考えを伝えるのが困難で、理解されにくい。					
到達目標E	データを活用して業界の分析ができ聴衆に伝えることができる。	データを活用して業界の分析をすることができる。	業界の現状を多元的に理解することができる。	業界の現状を一元的に理解することができる。	業界の現状理解ができていない					
【教科書】										
必要に応じて資料を配布する。毎回前回講義のまとめを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
授業目的を反映した試験により点数により評価をする。単元時に実施する課題の内容、取り組み方、丁寧な表記、正確な文字を評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

